

北設楽郡公共交通活性化協議会 (愛知県設楽町、東栄町、豊根村)

総合事業

確保維持改善事業

取組み(功績)の概要 『山村の複数町村の連携で、総合交通システム「おでかけ北設」を構築』

郡内3町村が一つの生活圏として機能する交通システムの構築を目指し、3町村の連携により町営・村営バスの運行を一体化し、総合交通システム「おでかけ北設」を実現。

路線を「基幹バス」、「支線バス」、「予約バス」等に分類し、役割を明確化。町村を跨る町村営バスは相互に乗り入れを行い、区別なく利用できるようにした。

こうした取組みにより、郡内唯一の高校の下宿解消、高齢者の外出機会の増加などの効果が見られている。

事業内容

1. 町営バス、村営バスの運行一体化

- ・各町村内で完結していた町営(村営)バスの運行を一体化。運賃体系やバス停デザインも統一。
- ・独自のHPを立ち上げたほか、「おでかけ北設だより」、「おでかけ北設時刻表」を作成し、運行案内、ダイヤ改正等、きめ細やかな情報提供を行い、利用者への「わかりやすさ」にも配慮。
- ・路線を「基幹バス」、「支線バス」、「予約バス」に分類。乗換拠点での案内・待合設備の充実を図った。

2. 隣接市との連携

- ・隣接する新城市と連携し、バス利用促進キャンペーンを実施。

3. その他

- ・会議には3町村全ての首長が委員として参画。また、「協議会」の下に、町村間運行・事業者との調整などを行う「幹事会」、町村内における住民・利用者意見を汲み上げるための「分科会」を設置、効率的に運営。

3町村の地域公共交通イメージ

実線:基幹バス 点線:支線バス 楕円:予約バス

